

## 取扱い方法

# ゼプリオン®

## 4週

### 導入レジメン\*以降は 4週ごとに投与する

\*初回投与から1週後に2回目の  
投与を行う



### シリンジを10秒以上 十分振盪する

ゼプリオン®は三角筋  
又は臀部筋内だけに  
投与すること。

ゼプリオン®を使用する際には、  
必ず電子添文及び本取扱い説明書  
をお読みください。

### 【注意事項】

#### 1. 保管に関する注意事項

- ゼプリオン®は室温にて保管すること。
- ゼプリオン®は1回使い切りで投与すること。

#### 2. 投与方法に関する注意事項

- 三角筋又は臀部筋以外の筋肉、皮下や静脈内には投与しないこと。
- ゼプリオン®は持効性製剤であり、直ちにゼプリオン®を除去する方法がないため、経口パリペリドン又は経口リスぺリドン製剤により治療反応性及び忍容性を確認してから、ゼプリオン®を投与すること。(右上につづく)

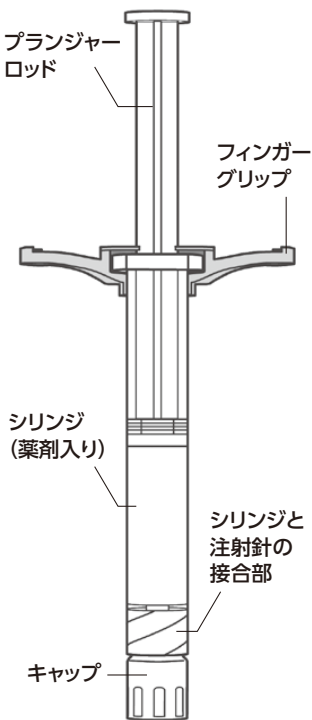
- ゼプリオン®の投与時には以下の用法及び用量にしたがって投与する。

#### 【用法及び用量】

通常、成人にはパリペリドンとして初回150mg、1週後に2回目100mgを三角筋内に投与する。その後は4週に1回、パリペリドンとして75mgを三角筋又は臀部筋内に投与する。なお、患者の症状及び忍容性に応じて、パリペリドンとして25mgから150mgの範囲で適宜増減するが、増量は1回あたりパリペリドンとして50mgを超えないこと。

- ゼプリオン®投与前に、懸濁液が均質となるようシリンジを10秒以上振盪する。
- 注射針をプレフィルドシリンジに取り付ける際は、適度な力で装着し、破損や液漏れがないことに注意する。破損や液漏れがあった場合は、新しい針、プレフィルドシリンジに交換すること。

## プレフィルドシリンジ

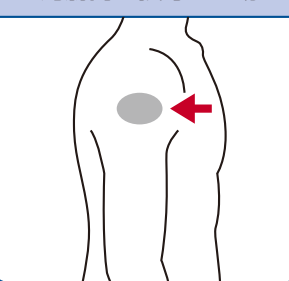


※ゼプリオン®は1回使い切りである。

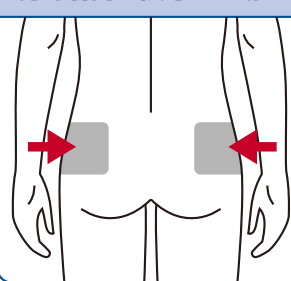
## 1 注射針の選択

注射部位と体重から、適切な注射針を選択する。

#### 三角筋内へ投与する場合



#### 臀部筋内へ投与する場合



※初回及び2回目は三角筋に投与すること。

#### 【適切な注射針の太さ、長さ】

	三角筋		臀部筋
	体重90kg未満	体重90kg以上	
太さ	23G	22G	22G
長さ	1インチ (25mm)	1½インチ (38mm)	1½インチ (38mm)
針もとの色	Deep Blue	Black	Black

#### その他の準備する物

- アルコール消毒綿
- ガーゼ
- 絆創膏

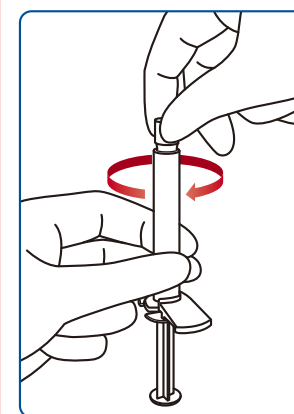
## 2 注射準備

10秒以上振盪



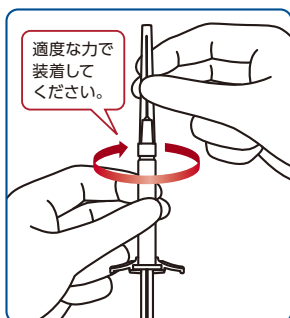
シリンジ内の懸濁液が均質となるよう、シリンジを10秒以上十分振盪する。

なお、振盪後5分以上経過した場合は、再度振盪する。

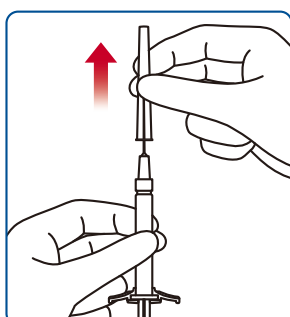


シリンジを上向きに持ち、キャップを時計回りに回して取り外す。

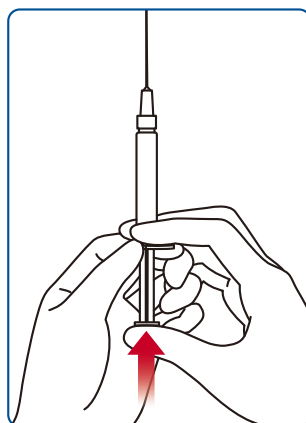
## 2 注射準備



シリンジの接合部に注射針を時計回りに回して取り付ける。



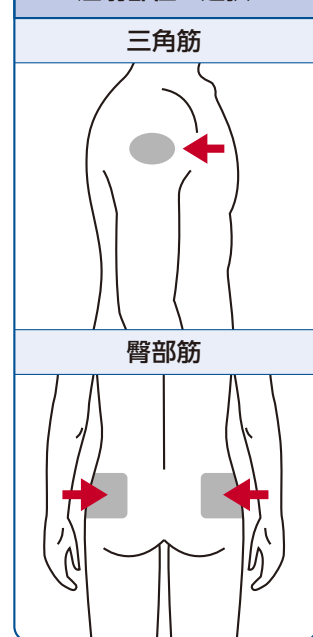
注射針のカバーを回さず  
まっすぐ取り外す。  
回すとシリンジと注射針の  
接合部がゆるむおそれがある。



シリンジ内に気泡がある場合、注射針を上に向けた状態でプランジャーロッド(内筒)を押し、慎重にゆっくりとシリンジから空気を抜く。

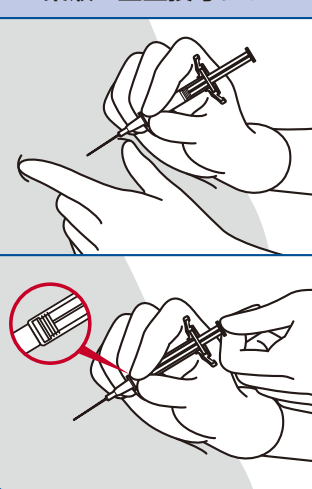
## 3 注射

#### 注射部位の選択



アルコール消毒綿で注射部位をふき、自然乾燥させる。ゼプリオン®は三角筋又は臀部筋以外の筋肉、皮下や静脈内には投与しないこと。投与部位は毎回左右交互とし、同一部位への反復注射は行わないこと。

#### 薬液を全量投与する

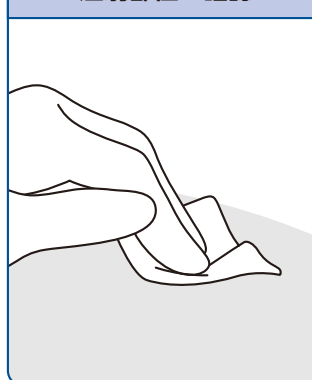


#### ✓ 90°の角度で刺入する

皮膚を伸展し、選択した三角筋又は臀部筋内に深く垂直に刺入する。プランジャーロッドを軽くひき、血液の逆流としびれがないことを確認し、シリンジ内の薬液をゆっくり投与する。

✓ シリンジ内の全量を投与する  
プランジャーロッドを最後まで押し、シリンジ内の薬液が全量投与できたかを確認する。その後、注射針を素早く抜く。

#### 注射部位の確認



#### ✓ 注射部位を確認する

注射部位をもまらずに、絞ったアルコール消毒綿(もしくは乾綿)で軽く押さえる。少量の出血や薬液が認められる場合は、しばらく押さえておく。注射部位の皮膚の変化やしびれ、激しい痛みがないか確認する。必要に応じて絆創膏を使用する。

## 4 注射後



注射完了後、注射針及びシリンジを安全に適切な方法で廃棄する。

## 3POINTチェック

#### 1 注射剤のチェック!

- 投与する注射剤と患者さんの名前は合っていますか?
- 用量は合っていますか?
- ゼプリオン®は室温にて保管してください。

#### 2 対象者のところからだのチェック!

- 前回投与後のところやからだの変化を確認しましたか?(症状、効果、身体のちょっとした変化など)
- 注射をする部位に炎症反応(痛み、腫脹、発赤、硬結など)はありませんか?
- 前回注射した部位を確認しましたか?(同側部位をさける必要があります)
- 患者さんのプライバシーに配慮し、適切な体勢をとっていますか?
- 患者さんがリラックスした状態になっていますか?

#### 3 投与前後に必要な看護技術のチェック!

- 筋肉内に注射針を何cm刺入するかアセスメントしましたか?
- 刺入時に、しびれの有無と血液の逆流を確認しましたか?
- 投与部位をもまないように患者さんに伝えましたか?
- 注射後、注射部位を必ず観察しましたか?

janssen  
ヤンセンファーマ株式会社  
〒105-8505 東京都港区新橋3-3-1

JP501160AN  
XEP-0202  
XEP.GI078.1\_1  
2021年6月作成  
©Janssen Pharmaceutical K.K. 2021